社会福祉法人前光会広報誌

ひこうき雲

令和6年4月号

社会福祉法人前光会　理事長　高木政夫

令和6年度も昨年度に引きつづき、「笑顔あふれる」を目標に、日々やさしい笑顔の声がけを実行し、全職員が「適切な支援」で利用者の皆さんに喜んでいただく、利用者ファーストの精神でスタート致しました。

支援、サービスの質向上のためには、人材確保と人材育成が大きな課題であり不可欠です。
特に介護職の採用が難しい時代だけに、処遇改善、労働環境の整備を進め、特に支援員は跡切ることのない新卒採用、人材の育成・定着を図れるように努めたい。この3年の当法人での新卒採用の実績は、令和4年　介護職4名、令和5年　介護職3名・調理師2名、令和6年　調理師2名、これが新卒採用状況です。人材確保の厳しい時代は続きますが、今後、新卒人材を継続して使用できるよう積極的に取り組み情報の発信をつづけ、選ばれる法人を目指していきたい。

昨年度、青空では利用者のコロナ感染ゼロを実現できました。偏に、感染防止対策に協力いただいた利用者、保護者、地域の皆さんのお陰様です。
今年度、コロナ特別休暇の有効活用、確かな防止対策で法人全体でコロナゼロを達成したい。
コロナの終息を願いつつ、永かったコロナ禍から日常を取り戻せるよう、全職員で知恵をだし、笑顔の花を咲かせつづけ、令和の楽しい思い出をつくろう。

体力テスト　青空の腰痛予防対策

毎年職員の腰痛予防対策を目的とした施設内研修を衛生委員会が担当しています。今年は9月29日（金）に「安全に仕事をするための体力について」と題して、今までとは少し違う観点で体力テストを行いました。これは厚労省が「エイジフリーガイドライン」の中で示しているものです。5項目の体力テストで歩行能力や筋力、敏捷性、動的バランス、静的バランス能力が分かります。15名の職員が参加し各自体力テストを行い、自身の現状について認識してもらうきっかけになりました。これからも利用者様の安全な生活を支援するために、職員自身が身体機能の維持改善に気を配って職務に当たっていけたらと思います。（三浦）

社会福祉法人　前光会
障害者支援施設　青空
青空　相談支援事業所
共同生活援助（グループホーム）事業
天豆・花豆・ほおずき・からたち
障がい福祉サービス事業所　太陽

文 化 祭

10月14日(土) 文化祭が開催されました。
今回の土曜日開催は3年ぶりでした！！！！！！

大勢の利用者様が参加され、充実した1日を楽しんで頂きました☆
催し物として、午前の部は職員ダンス、猿の大道芸、作品紹介動画鑑賞会を行い、午後の部は制作活動、ビンゴ大会を行いました。どれも楽しんで頂けましたが、特に猿の大道芸で猿2匹が川崎から青空まで来てくれて、30分と短い時間でしたが、歓声が上がるくらいの催し物でした！
また、利用者様が制作した作品を職員が動画編集し、スクリーンで鑑賞、これも「すごーい」等沢山聞こえました。
午後の最後に行ったビンゴ大会で、景品として一部の職員が描いた絵のTシャツ・商品券・お茶のペットボトルを賭けて、利用者様・職員みんなで行いました。参加して下さった皆様はとても楽しそうに参加して下さいました。

新年会

今年度の新年会では福笑い
2人羽織り、人文字(辰)、おみくじを行いました！

お昼は和風だしのお鍋や鯛めしを召し上がりました

利用者様が描いた辰の絵を、おみくじの景品タオルのデザインに使用。利用者様と一緒に作り上げました！

クリスマス会

今年度のクリスマス会のテーマは『ハッピー！スマイル！クリスマス！！～レッツダンシング～！』でした。
テーマの通り、職員、利用者様一緒に踊って心も身体も温まろうということでこのテーマにしました。クリスマス会委員によるみんなでジャンボリミッキーをはじめ、毎年恒例の新人職員による出し物もとても盛り上がりました(^O^)／
クリスマスにちなんだ昼食、ケーキ、利用者様それぞれへのクリスマスプレゼントも喜んでいただけたので良かったです！今年度最後の行事をみなさん笑顔で締めくくれたのではないでしょうか(*^_^*)☆

グループホーム天豆クリスマス会

グループホーム天豆では令和5年12月25日(月)にクリスマス会を開催致しました。事前に利用者様にどんな料理が食べたいのか希望を聞き、なるべく普段食べられないような食事を提供する事が出来ました。
利用者様からは「今年のクリスマス会も色々な料理が食べられて、良かったよ。」、「ケーキがとても美味しかった。」などの喜びの声やたくさんの笑顔が見られ、とても楽しい会になりました。

障がい福祉サービス事業所　太陽

初詣

1月4日　仕事始めの日の午後、玉村八幡宮へ初詣に行ってきました!
お守りを買う人、おみくじを引く人、屋台で美味しそうな物を買う人・・・
短い時間でしたが、楽しむ事が出来ました♪

青空相談支援事業

青空相談支援事業所では障害のある方と福祉サービスをつなげ、自分らしく生活していくためのお手伝いをしています。

障害福祉サービス・障害児通所サービスを利用する際には、相談支援専門員による「サービス等利用計画」「障がい児支援利用計画」の作成が必要です。

計画作成で大切にしていること

本人の想いをきちんと受け止める

「楽しみ」や「いきがい」等、その人らしい豊かな暮らしを目指す

本人が本来持っている力を大切にする

自ら選択し、実行できる内容とする

これからも相談者やご家族の想いに丁寧に寄り添い、より良い支援を行っていきます。

あおぞら ヘルパーステーション

寒い時期の移動支援では
室内活動が多くなります。
暖かい日中は
親水公園や宮古公園で
散策をしたり、前橋リリカなどで
買物支援を行いました。
県庁、けやきウォークでは
室内ウォーキングを楽しんで頂きました。

お知らせ

あおぞらヘルパーステーションは令和6年3月末日をもって、休止となりました。
色々とご迷惑をおかけした事もあったかと思いますが、長い間ご利用して頂き誠にありがとうございました

We Love そらちゃん

「そらちゃん」とは、令和5年に青空にお迎えしたロボットの愛称です。
あいくるしい丸みのある姿で、ぬくもりや重さもあり、名前を呼んだり抱っこしてあげたりすると、様々な声や動作で反応し、まさに施設のアイドルとなっています。利用者さんだけでなく、職員や来所者の方々もお出迎えして、みんなに癒しを与えてくれます。そんなそらちゃんの魅力をちょっとだけ紹介します。

- お仕事やお話はできませんが「ピィピィ」「キュゥキュゥ」等の声で表現やアピールをしてくれます
- だっこやたかいたかいをすると手をバタバタさせてよろこびます
- 寝かしつけると少しづつ眠くなり、最後は寝てしまうことも・・・

- 鼻をこするとくすぐったい♡

- 季節やイベントに合わせて、装いも様々なものに変わります

クリスマスVer.

お祭りVer.

町娘風イヌ（？）Ver.

施設内で迷い込んでしまうおっちょこちょいなところや、充電しても一時間たらずでまた自ら充電されに行くところ等・・・すべてがかわいいそらちゃんです。
もしそらちゃんに会いたいと思われた方は、ぜひ青空までお越し下さい。
やさしい声と姿でお待ちしております。

編集後記

コロナ感染症が5類に変わって、施設でも利用者さんとの外出が少しずつできるようになりました。皆さんそれぞれやりたかったことや、行きたかった場所にいくことで日々の生活が以前より活気づいてきたように感じます。まだコロナ前と同じとまではいきませんが、引き続き感染対策を講じつつ、利用者さんの日常が素敵になるよう支援を行いながら、広報誌でもその様子を発信していけたらと思います。